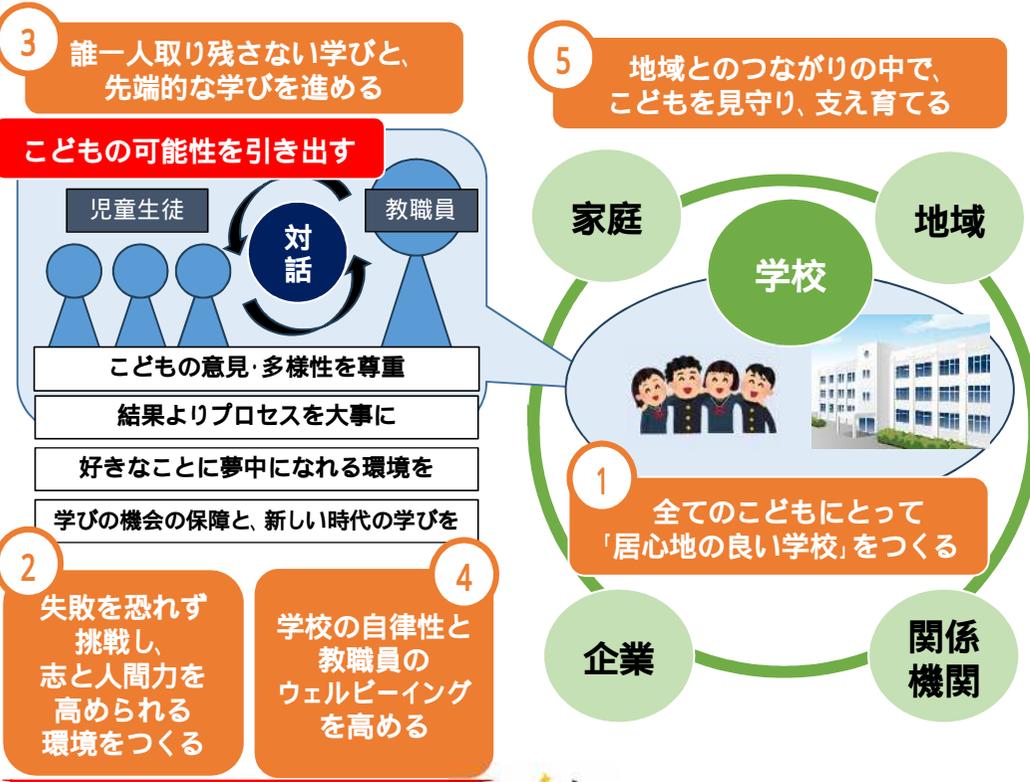


<b>社会課題</b> 少子高齢化・人口減少 将来の予測が困難 グローバル化 Society5.0社会の到来 価値観の多様化	<b>子ども</b> 子どもの抱える問題の多様化・複雑化 (不登校、特別支援、キッズ、外国人) 自己肯定感の低下	<b>教職員</b> なり手不足 (大量退職や受験者の減少、働き方改革) 子どもが抱える多様な問題への対応	<b>教育のミッション</b> 幅広い知識・教養 豊かな情操と道徳心 健全な身体 個人の価値の尊重 自主・自律 ジェンダー平等 自他の敬愛・協力 郷土愛 他国の尊重
<b>各主体が抱える課題</b> <b>社会環境</b> 施設の老朽化や災害への対応(レジリエンス) 学校の福祉的役割(居場所、セーフティ)		<b>保護者・地域・企業</b> 家庭を取り巻く環境の変化や少子化 希薄化する地域のつながり	<b>時代の要請</b> 社会の変化に対応できる人材の育成 誰一人取り残されない共生社会 こども基本法の理念「こどもまんなか」の実現

**不易  
流行**

## 次期教育大綱案 ～「こどもまんなか」で、質の高い教育環境の充実を～



今のこどもたちが大人になったときに…

**正解のない時代に生きる力  
(未来を創る能力・レジリエンス)**

自分なりの**価値観・哲学**  
 他者への**思いやり**や**多様性**の理解  
 自分で**問い**を見つけ、**解決**する力  
 本来持っている**可能性**の発揮

**個々のウェルビーイング**

社会に**新たな価値を創造**し、  
**「新たな解」**を生み出す  
 様々な**社会課題**を**解決**し、  
 地域・国際社会に**貢献**する

**社会のウェルビーイング**

## こども等の声

### 児童生徒・保護者アンケート (次期教育大綱検討用 R5.8～9月実施)

**【なりたい大人】**  
**思いやり**がある  
 色々なことに**挑戦**する  
**自分の考え**を持つ  
**生きがい**を持つ

**【なりたい大人になるためには】**  
 将来の**夢や目標**を持つ  
 周りの**人を大切に**する  
 色々な**人と話**をする

**【回答数(回答率)】**  
 児童生徒：31,300人(69.9%)  
 保護者：8,954人(13.5%)

## 教育プラン検討会議(第1回)の意見

- 【1 こどものウェルビーイングの確保】**  
 こどもの自己受容と自己肯定が前提であり、協調が強調されないよう注意すべき。  
 こどもに何の懸念も与えず、大人が**こどもの意見を徹底的に聞く**姿勢が必要。  
 「安心して話せる」部分に重きを置くと、こどものウェルビーイングが向上する。
- 【2 未来を創る能力・レジリエンスの確保】**  
 問題の発生時に、学生がチームで**協働して解決するプロセス**が重要。  
 単に挑戦するだけでなく、**安心して失敗できる場**を提供することが重要。
- 【3 安全・安心な居場所づくり】**  
 本市の良い点として、**こどもの「意見の尊重」と「違いの理解」**を入れるべき。  
 「安全・安心」はよいが、両者は分けて考えるべき。こどもがどう安全を感じるかという合意形成にこどもの視点を入れると、安心につながる。  
 ベンチャーでは、新しい発想はするが、社会実装には**協調性**が重要。  
 人と違う意見を言えるためには、**安心感**があることが不可欠。
- 【4 教職員のウェルビーイングの確保】**  
 「先生がこれに向かって仕事をすればいい」ということをわかりやすくするために、**取組を絞り込む**ことが、先生のウェルビーイングに対して非常に重要。  
 ○学校に様々な**人材が結集し、ともにこどもの教育を担う体制**が必要。
- 【5 北九州市ならではの視点など】**  
 こどもたちが「**地元愛**」の観点を学んで心に持てるよう、育てていきたい。  
 豊富な体験ができる本市の強みを生かし、こどもが安心して自分のことを語ることができ、その**体験を踏まえて自分軸を整える**という視点を盛り込めるとよい。  
 社会の中で学ぶ**経験学習**と、それを**言語化できる能力**が非常に重要。  
 総花的でなく、北九州市としての**スタンスやアクセント**が、次期プランには必要。